

第 44 回バイオレオロジー・リサーチフォーラムの御案内

第 44 回バイオレオロジー・リサーチフォーラムを下記の通り開催致します。

本フォーラムでは、嚥下の科学について、お二人の先生にご講演頂きます。最初のご講演では、大阪市立大学名誉教授 西成 勝好 先生に、嚥下に影響する食塊の物性を含む総合的な要因についてご講演いただきます。二つ目のご講演では、兵庫県立大学先端医療工学研究所 准教授 八木 直美 先生に、嚥下分野における動画解析の仕組み、AI を用いた新しい解析手法と活用例をご紹介します。高齢社会を迎え、重要な課題であります誤嚥予防と嚥下評価について、食と工学の側面からお話いただきます。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

主 催：日本バイオレオロジー学会

日 時：2023 年 6 月 3 日（土）16：00～17：50 ※第 46 回日本バイオレオロジー学会年会同時開催

場 所：兵庫県立大学姫路環境人間学キャンパス（姫路市新在家本町 1-1-12） F 棟 302 号室

テーマ：「嚥下の科学-高齢社会における誤嚥予防と嚥下評価-」

司 会：金田 勇（酪農学園大学 農食環境学群 教授）

講 演：

1. 16:00～16:50

「咀嚼・嚥下過程のコロイド・レオロジー」

西成 勝好（大阪市立大学 名誉教授）

誤嚥性肺炎による死亡率は高齢者では特に高い。食塊の粘度や凝集性が不適切であると、いろいろな問題が起こる。味や香りなどの化学的因子、温度、摂取者の精神状況なども嚥下に影響するので、総合的な検討が必要である。

2. 16:50～17:40

「人工知能で嚥下を科学する」

八木 直美（兵庫県立大学 先端医療工学研究所 准教授）

近年、嚥下機能評価のニーズの高まりに応じて、嚥下造影検査や嚥下内視鏡検査より簡便で非侵襲的な方法が開発されている。嚥下分野における動画解析の仕組みや AI を用いた新しい解析手法と活用例を紹介する。

参加費：無料（事前参加登録は必要ありません）

学会員で無い方の参加も歓迎します。

問い合わせ先：日本バイオレオロジー学会事務局 東海大学医学部内科学系循環器内科学
office@biorheology.jp